





第20回定例会

12月定例議会

- ◎補正予算(第4号)2,896万円追加
- ◎人勸の補正予算(3.3%)等を可決

12月定例会のあらまし

定例会は12日から22日までの会期11日間で開催された。町長から上程案件について提案理由の説明の後、11人の議員が一般質問を行い、最終日に原案のとおり可決した。

なお最終日には議員提出議案として4件上程し、シートベルトの着用推進など決議を行い閉会した。

議決した

おもな

議案

- 昭和59年度入善町一般会計補正予算
  - 今回の補正は現段階で確定した国、県補助に基づく事業と町単独で実施する事業のほか、人事院勧告に伴い職員給与の改正(4千689万1千円)など補正合計2千896万円増額し予算総額58億6千278万8千円とした。
- 職員給与に関する条例の一部改正
  - 職員の給与を平均引き上げ率3.3%(6千221円)とした。
- 新規土地改良事業計画
  - (一)青木から下上野地先を結ぶ新設道路を町が事業主体となって整備事業を行うことにした。延長 2千50メートル 事業費2億1千300万円
  - (二)上原地区で農業用排水施設整備、農道整備など事業費4億5千万円で行うことにした。
- 国民健康保険特別会計補正予算
  - 10月1日から退職者医療制度の発足に伴い国庫補助交付率が減額されたことで1千498万円を減額した。
- 簡易水道特別会計補正予算
  - 野中西沢簡易水道の水源の枯渇に伴い舟見簡水よりの応急仮設工事費や水源調査費75万円計上した。

採択された

請願

陳情

- ◆木根国道線道路改良に関する請願(採択)
- ◆昭和60年度農道整備補装事業に関する陳情(野中土地改良区)(採択)
- ◆漁業集落環境整備事業の早期着工について(吉崎)(採択)

議会日誌

12月	1日	呉東地区町村議会議長会 議会運営委員会	27日	新川広域圏事務組合議会
	3日	新川広域農道建設促進中 央陳情	1月10日	町民会館建設特別委員 協議会
	7日	町民会館建設特別委員協 議会	14日	町民会館建設特別委員協 議会
	12日	議員全員協議会	21日	町民会館建設特別委員協 議会
		第20回入善町議会定例会 (初日)	25日	町民会館建設特別委員協 議会
	14日	議会運営委員会	29日	議員全員協議会
	17日	議会定例会(2日目)		第21回議会臨時会
	18日	議会定例会(3日目)	2月1日	町民会館建設特別委員 協議会
	19日	文教厚生委員会	4日	議員全員協議会
	20日	総務委員会	6日	町民会館建設特別委員 協議会
	22日	産業建設委員会	12日	議員全員協議会
	23日	議会定例会(4日目)		三町議会議員協議会総会
	24日	北陸新幹線建設促進同盟 会		

人事

- 入善町監査委員選任に同意
  - 12月19日奥田新作氏の任期満了に伴い谷 久重氏を選任することに同意した。
- 新川広域圏事務組合議会議員(補欠)選挙
  - 上田義信議員の辞職に伴い後任に岡島松次郎議員が選任された。
- 舟見中学校組合議会議員(補欠)選挙
  - 西尾政己氏の辞職に伴い後任に朝倉 卜氏が選任された。



# 決算

## 抜本的な行政経費の節減を

### 特別委員会

#### 決算審査報告

昭和58年度各会計決算は9月議会で特別委員会を設置し、11月まで、7回にわたり審査を行ない、その結果を12月議会最終日に報告し、認定された。

委員長 若島 信行



#### 審

#### 査

#### の

#### 方

#### 針

町当局が議会の議決を尊重し適正に予算を執行したか。また、その投資効果はどうかを検討し、次年度以降の予算編成と今後における行政の方向を見い出すよう意見を付した。

#### 総括意見

58年は入善町が誕生してから30周年を迎えた年であり、加えて新しい基本構想に基づき総合計画がスタートした年であった。また国の一般会計予算は昭和30年度来の低い伸び率であり、国の財政事情が地方へ地方交付税の削減など直接的に影響し始めた年であった。このような状況の中で町長は行政改革の推進に努めると明言し行政改革の提言を受けて臨まれたが、消費的経費の節減や補助金

の整理統合も若干あったにしろ抜本的な改革には程遠い。事業として上青小体育館、駅南住宅、老人福祉センター、社会体育館など建設されたことは高く評価するが、投資的経費中の町単独経費は決算構成の20%と過去決算の最高である。住民要望に応える姿勢は評価するものの補助金の獲得に一層の努力を要する。

また経常取支比率が57年度の69.3%から58年度は73.8%とアップし、一段と財政の硬直化が進んでいるので財政構造の適正化に努める必要がある。

●具体的意見(主なもの)

- 一、39もある各種委員会はそれなりに必要な面も理解できるが、年1回も活動されないものもある。従って審議回数等総体的に見直しその必要性や報酬等について検討する必要がある。
- 一、武村福祉会館の必要経費を考える時、その利用・運営は抜本的対策が必要だ。
- 一、地区で季節保育所が開設されているが父母負担も大きい。子供の遊具など現物支給出来ないか今後検討されたい。
- 一、住民の要望が高い道路舗装は59年度のように延長7km位の施工ではあと26年間要する。予算化に向けて努力願いたい。
- 一、転作の定着化によりそ業の安値が目立っている。他市町のように「一村一品運動」を展開し、市場との販売網の開発を急がねばならない。





# 一般質問



## 町政執行の 基本姿勢を問う

自民党代表質問 池原金与志議員(自民)

問 今、国において60年予算編成が進められているが、土光臨調を前面に押し立てて地方財政に国庫補助金一割削減を迫っているなど、今後の行財政運営は必ずしも明るい見通

しはない。町長は「活力とうるおいに満ちた文化の町入善」を合い言葉に参加とふれあいなど4項目を掲げて町政執行の基本としている。しかし新総合計画から推察されることは何故60年度に大型プロジェクト投資的事業を集中させた計画なのか。町民会館建設事業を始めとする施設作りに地方債約8億円、財調積立金8億4千万円計16億4千万円投資することになっている。町の臨調ともいわれてきた入善町行財政審議会の答申など基本としての計画策定なのか、町長自身の構想なのか。

今の計画からすると62年度内に公債債務が約63億円、準公債比率20%弱と赤信号財政になる恐れが生ずる。さらに積立金58年度末20億7千万円が62年度末で6千500万円となり今後も借入れを続けねばならないものとするなら62年度以後の財政硬直化は避けて通ることは出来ない。長期的に厳しい財政運用をどのように乗りきられる考えでの計画か。

さて60年度は柚木町政第一期目の最後の予算編成だが我々自民党が60年度町政重点施策として要望している生活環境整備、都市計画、企業誘致、各生産基盤の強化など

その促進について、更に町長が各地区の町政懇談会を通じて肌で感じていると思うが、住民の沢山の要望こそ受け止めねばならない事柄ではないか。沢山の要望のある中で香高い文化の町入善の象徴として20数億円の予算を以って行う町民会館建設は理解出来ない訳ではないがこれこそ財政運用を圧迫するのではないか。歳入面で、やや期待出来る町民税の伸び以外に何も無い状況下において町民ニーズに合わせるには、県にその予算獲得を求めねばならない町長の行政手腕こそ大事ではないか。併し、いかに体力的に自信のある町長といえども一人では限界がある。

さて町長も長きに亘る議会人として政治の表裏を知り尽くしている苦だが行政の長としての今日、議会または庁内対策に今少しコンセンサスが足りないのではないかと町長は常に議会と行政は車の両輪だといながら今問題になっている町民会館建設を始め職員昇任試験、情報公開、職員の企業派遣等ことある度に疎通が欠けている。また町民党として自ら自負される町長は国、県とどのようなパイプで結ばれ陳情また予算獲得をされているのか。良識ある町民の中には町政発展を願う国、県と太いパイプを敷くため町長は時の与党に入党され毅然たる態度で町政執行に当るべきでないかとも聞かされる。決意の程はいかがか。

最後に60年度予算編成に取り組まれる町政執行の基本姿勢を伺う。



学校改築にも、多くの要望が

町長 新総合計画については58年度から65年度までの8年計画を策定し議会の議決を以ってその実現に全力を尽して取り組んで来た。

60年度予算編成を前にして60年から62年度に至る実施計画を見直したが、60年は防災行政無線の導入、行政バス購入、働く婦人の家、飯野小学校・町民会館・産業展示館の建設など計画している。これにかかる財政計画として60年は国の動向に留意しながら、町税で約19億円余り、地方交付税12億8千万円、国庫支出金は11億7千万円、地方債9億3千万円、繰入金8億4千万円を主な財源とし総額68億9千万円想定している。財調積立金残高は62年で指摘のとおり6千500万円となるが剰余金の生じた時は財調資金として積立して行きたい。大きな仕事をする一時的には借り入れが多くなる。積立金が



少なくなるが長期的展望にたつて健全財政を堅持しながら財政運用に当りたい。なお自民党の要望は財源の許す限り反映したいが特に道路の舗装あるいは消雪対策などについては思い切り予算措置をしたい。公債及び債務負担行為は58年末で58億1千万円、準公債費比率は47%である。参考までだが魚津14%、黒部12%、宇奈月16%、朝日13%、滑川17%、県平均15%であり本町は中位程度と思つている。しかし今後の地方債の充当は慎重に対処したい。町民会館については21億5千万円とし国県補助金2億5千万円、一般財源10億6千万円、起債8億4千万円を予定しているが、地方債の償還は2年据え置き10ヶ年で62年には1億円、63年から1億4千万円ほどの返済になる。これは他の事業に全く影響がないとは言いがたいが行政サービスの下を招かないよう行政執行して行くべきである。議会と執行部とは車の両輪として運営されるべきだが調整機能などが欠けていたことを反省している。国県補助金の獲得については国県議と定期的な意見交換の機会を持ち理解を頂いているほか国においては住代議員やかつて県議会で机を並べた野上・高平代議員などに協力を頂いている。自民党に入党する気持ちはないかについては、行政の責任者として行政の中に特定のイデオロギーを持ち込むべきではないと考えている。今までのように町民党という立場で町民の

側に立つた考え方で町政の執行に当って行きたい。

**再質問**

どの市町村長でも保守系無所属とか革新系無所属とか、はっきりとした立場で職務を遂行されている。単に町民党ではなしに態度を明確にすべきでないか。

**町長**

3年間町長職を行ってきたが、特にどの政党に所属してはなかったといつて予算獲得面で非常にマインスだったとは思っていない。関連質問 五十里隆章議員

国の補助金一割カットは町行政に直接影響し町で負担しなければならぬと思つているので、今後の財政運用は慎重に対応したい。しかし総合計画のローリングの財政計画では、62年度に準公債比率が19%と2割近くを借金へ充当しなければならぬ。当然行政は住民の二



建設が進む飯野小学校

ーズに因應するためには何を選択するかその対策が生まれてくるものである。こういう情勢の中で町民会館の建設は暫く待つべきと思つてどうか。

**町長**

公債比率は財政運用の指標であり重視しなければならぬ。併し債務負担行為は段階を追って蓄積されたものであり、前々から議会の議決を頂いていることだ。町民会館の建設については、59年度の予算要望の中で自民党議員会から早期建設と言ふこともあったことを理解願いたい。また補助金のカットは現段階では保育所措置費だけである。

**再質問**

町長が就任された当時準公債比率は15%と言われ、昨年において積極財政を進めるためには17%、18%と言われた。今日になってその比率に債務負担行為は別との見解だ。また町民会館は自民党でも賛否両論があった中で、執行との協力体制上出された面もある。しかし社会情勢の変化いわゆる財政厳しい時からして繰り延べるべきと思つ

町長 町民会館については紆余曲折があった。しかし財政の問題など含めて国や県に理解してもらつており入善町だけの論ではなくなつてきている。公債比率15%は黄信号と申し上げたが議会あるいは町民の要望に応じて行く時は比率が上がるのは止むを得ない。しかし20%が限度と理解している。

## 抜本的 行政改革を図れ!!

大林政雄議員(自民)

**問**

昨今の町行政の中でそれが是非か町民会館の建設をめぐって対立の様相を呈し、国・県の関係にも微妙な影響を生じかねない事態となつてきた。この建設について4月に議会側も了承していたが、9月において町長の中央公民館用地を代替地としたいとする発言に端を発し、商業の活性化や市街地交通の確保問題、さらには財政問題などにより振り出しに戻つた状態となつた。その上9月から12月にかけて何ら説明、調整のないまま突如5億7千万円を追加せんとする町長の政治姿勢に問題があつたと思つた。しかし議会と車の両輪でなかつたにしても果して対外的にこれで良いのか憂慮する。6月議会で条件があつたにせよ建設を認めたことであり、その後のことは内部の問題だ。それは既に用地交渉が進められ手付金が支払われていくこと。正副議長も住代議員をはじめ大蔵省等国に陳情し間もなく補助金の内定通知がくることは必至である。ここで入善町が国・県に対して信用失墜するか、体面を保てるか重大な岐路に立たされている。しかしこのままの状態で会館建設に入つたら将来に禍根を

**町長**

会館建設について紆余曲折があつたとしても大方の理解を得たものと判断している。大きな仕事をすればその影響は止むを得ないが長期的な見直しからすれば財政運用は十分行えると確信する。冗費を節約し危機を乗り切りたい。提案のフラワースセンターは1千500万円を要するが町民の情操教育あるいは小・中学生の教育的効果など目に見えないものもある。現在職



員2名とパートで仕事をしているが効果を上げるよう検討したい。学校給食については文部省は安上がらせるため民間委託あるいは集中管理など打ち出している。しかし給食施設はすでに投資しており、直ちに集中管理することはむしろ金がかかるし民間委託にしてもなじめないところもある。単に金銭の問題だけではなしに教育効果を考えねばならない。武村福祉会館については少ない経費で効果が上がるよう提案の主旨を十分理解し努力したい。なお町民会館は管理運営や利用面からして庁舎北側と考へた。都市計画全体あるいは商店の活性化と関係する中央通り線は61年から着手出来ないかと思つていたが2年位遅れるようだとその間これら開発に十分検討を加えて行きたい。

町には現在117の簡易水道が設置されている。しかし40年代の全町に亘る井戸枯れまた最近では本年冬季や10月には野中地区西沢簡易水道が濁水している。水道法では水道事業の経営は市町村と規定されているが、本町では地区もしくは集落ごとにその経営がゆだねられており、これがため水道の普及率は県下最低であり事故の発生によつて問われる行政責任は大きい。従つて衛生管理面や地下水の有効利用面からして簡易水道の町営化を進める必要がある。さらに水道の改善整備には多額の経費を要するが、当面余儀なくされている西

沢簡易水道の町負担と経営方式をどのようにするのか。

町長

水道の問題は行政の責任において考へて行くのが原則である。町には給水人口10人以上の無認可水道が10ヶ所あり県からも指摘を受けている。8月に全地区の責任者に集つて頂き理解と協力をお願いした。今まで井戸枯れしなかつた吉原や板屋地区で濁水を見ており今、地下水の調査を委託している。また野中地区の西沢簡易水道については、町営を原則として今後の総合計画のローリングの中に入れて対応して行きたい。

毎年予算決算期において指摘さ



一層の活用が望まれる武村福祉会館

れることだが58年度の墓地の使用契約は計画が40区画に対し実績は17と低い。長期的な展望に立てば十分墓地の潜在需要が考えられるが、59年度からは起債の元金償還に入っていることは事実であり、60年度からは安易に努力するとの逃げ口上の答弁でこれに臨んではならない。墓地は長期的な需要を前提としており財産管理の概念を持たねばならないことからして、特別会計から一般会計に振り替えし財源に裏打ちされた現実的な方針が必要である。建設してからの経過や実績や今後の見通しはどうか。

環境保健課長

55年上飯野で3千坪の用地を求め、墓地であり公園としてスタートしたが、他町のように山の斜面を利用し需要の動向をみて区画を拡大することは不可能であった。長期的な需要に応えるものであれば工事費等は一般財源で負担すべきでなかったか。79区画を造成し55年に291、56年16、57年12、58年17、59年6、計342区画使用契約している。60年度以降も同様に推移すると思う。建設当時も調査したが昨年9月区長を通して希望調査したが、残り区画43に対し回収率56%で324の希望があった。しかし美善町の調査結果では今すぐ欲しいはゼロ、5年以内が20%の実態であった。6千300万円の起債償還は80万円もあり努力して行くが一般会計より繰り入れも止むを得ない。

他用途米の  
対応を急げ!!

松沢孝衛議員(自民)

国の明年度予算は厳しいことから厚生省や文部省を中心に9省庁において補助率を越えるものは一律に1割カットし、その分地方に負担転嫁する事になっている。中には、公立学校施設費などがその項目に入っているが我が町へいかなるものがどれだけ影響するのか。特に福祉関係などは町で継ぎ足しするのか、受益者に負担させるのか。また政府は補助金のカットによる財源対策として地方税の充実とその負担の適正化をあげている。具体的には住民税における利子配当課税制度の確立、固定資産税負担の適正化など指している。明年度は評価替の年だが自治省からどのような通達をされているか。町では税率など引き上げる考へか。さらには地方の借金依存体質を改善するため、公共事業に対する起債充当率の引き下げを言っているが、町ではどのように影響しその財源をどこに求めて行くのか。

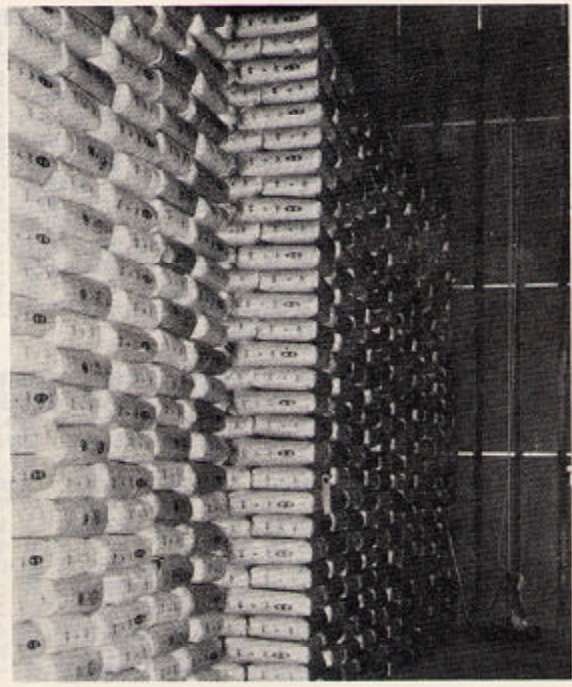
このような状況下において、現在、町では債務負担行為を含め約58億円の公債費を有するが、60年から62年までの総合計画の事業を行うと公債費等75億円程にも膨れ上がるのではと懸念する。20億5千万円の積立金は底をつき63・64年がその返済のピークと思う。町長は各地区で町政懇談会を開催されたが町民の声は道路、用排水路、生活環境の整備などであったはずだ。町民のニーズに添えて行くことはできるのか。

各論に入るが上青小学校も開校し2年近くとなるが、通学道路である柴垣邑町線は年に一・二度の事故が起きている。児童の通学安全上、早期完工に向けて努力を要望する。

町長

国の補助率が5割も超える事業の補助金の1割カットは、弱い立場である生活保護費や身体障害者の扶助費あるいは、老人保護など社会保障費が中心であり憂慮している。直接的な影響は、不透明なところもあるが、児童保護措置費(保育所)の補助金では約250万円前後ではないか。飯野小学校においてはカットの対象に当たらない。また生活保護費については市のように福祉事務所がないので町では影響はない。この補助金カットは自治省や地方自治六団体も反対しており、今後の自治省と大蔵省の折衝に期待している。町債につ





いては徐々に多くなってきたが、しかし学校や町民会館などの建設、災害復旧工事などは大部分もしくはその性格によって定められている率によって交付税で算入されてくるので、直ちに財政の硬直化につながらないことを理解願いたい。

**税務課長**

税制改正について決定的な情報が入っていないが税率は従来通りとしたい。固定資産の評価は国、県の指示により田は12%、宅地については12%平均上昇を見込んでおり木造家屋については103%、非木造家屋では107%にそれぞれ経年補正率を乗じ求めているが、これを3ヶ年で調整していく。

**建設課長**

柴垣邑町線は60年に用地買収と

なり61年に着工になるだろう。地元の協力は更にお願したいが予算的には60年3千600万円位を国に要求している。

**問**

水田転作が定着化した今日、他用途米についての対応は行政の欠くべからざる施策である。町でも取り組んでいると思うが富山県農業試験場では試験改良に取り組み「秋ヒカリ」という品種で1トン程度収量があったと報道されている。また愛知県のある生産者は反収20俵の収量を上げたことや東北地方で24俵もあったと聞いている。本町でも試験田または改良試験展示田などで品種改良に取り組みされる考えはないか。

**農政課長**

他用途米について入善普及所の

試験田で720kgの収量があった。他県の高収性のものは導入し実験的に行ってみたいが県では秋ヒカリを品種認定された。

**関連質問 五十里隆章議員**

今年度の他用途米の配分は米作県に大きく配分されている。各県いろんな考え方もあると思うが入善町農業は良質米生産地として米作の比重を保っていかねばならない。これは町だけではなしに県の行政の中で明確にしていかなければならない。今、県では他用途米として秋ヒカリの導入を決めたが、農協では即導入ということになると農家経済の面からして反対の考えである。何等かの対策を考える必要はないか。また、他用途米導入するにしても収量の基準をどこにするかで面積の設定が変わってくると思うが。

**農政課長**

米作町として60kgどりする基本方針は当然だが他用途米も今後若干伸びると判断している。他用途米は高収量の品種導入によって飛躍させねばならないがその配分は現段階で決まっていない。県には地域の特性を生かして欲しい、山間地等で裏作対応出来ない所は優先配分を願いたいと言っている。明年からの他用途米については農協とも相談し転作面積の配分になる段階までに方向を見い出したい。

**関連質問 白又正司議員**

他用途米の秋ヒカリについては放っておいても反収13俵はとれることは私が5年間作って知ってい

る。愛知県平野農場では6町歩作付けし反収24俵とっている。これだけでもとれば農家にプラスになることであり個々の割り当てではなしに集落ごとに分担する方法などは考えられないか。町としてせめて全国の多収量品種の種子を取り寄せてやろうかという気持ちがあるのか。中核農家育成といって標札の配布だけでないか。農民にやる気をおこさせる何かがあっても良いのではないか。

**町長**

農業は町の基幹産業であることは十分認識している。日本の食糧事情は緊迫しているが米はやはり量より質である。しかし今年度からの他用途米の導入は多収量の品種を採用することは当然であり、秋ヒカリの採用も検討しているが新しい品種について早く情報はキヤッチして行かねばならない。この割り当てには関係者とも十分相談し決めて行きたい。

**老人の  
利便を  
図れ!!**

五十里隆章議員(自民)

**問**

老人福祉センターの運営について尋ねる。現在週に3回バス運行されているが運行される日とされない日では利用者大きな差があると聞いている。会館の有効利用やサービスマンから考えて運行状態によって建物が遊休するのはどうかと考える。また運行路線の問題だが現在3路線の運行となっていて4月より発足してから間もないため多様な対応というものは難しいと思うが、3路線に固定されることなく町全域の方々平等に近いところで乗せないと足の弱い年寄りには難儀である。そのため月に1回でも自分の家の前で停車して欲しいとの要望も強いので検討されたい。また降雪期において





年寄りがかまい所で待つということ  
は健康上も良くないことである。  
この期間の対応も考える必要もあ  
りさらにバスの増発等も考えてい  
るのか尋ねる。

増設することは現行の体制では困  
難な面もある。しかし今後十分検  
討しながら木曜日だけに1便増発  
出来ないか考えている。冬期でも  
家に閉じこもらないよう各種教室  
を開いているので今後も大いに活  
用されることを期待している。参  
考までだが老人福祉センターでは  
100名、農村環境改善センターでは  
30名、南部コミュニティセンター  
では25名、漁村センターでは20名  
とそれぞれ1日平均多くの方に利  
用して頂いている。

冬期間の運行については従前ど  
おり運行することに決定している。  
なお経路は月・水・金と3プロッ  
クに区切っている。利用者の要望  
に応え当初より多少増設し現在57  
ヶ所の停留所があるが、道路事情  
やバスが大型等によってこれ以上

増設することは現行の体制では困  
難な面もある。しかし今後十分検  
討しながら木曜日だけに1便増発  
出来ないか考えている。冬期でも  
家に閉じこもらないよう各種教室  
を開いているので今後も大いに活  
用されることを期待している。参  
考までだが老人福祉センターでは  
100名、農村環境改善センターでは  
30名、南部コミュニティセンター  
では25名、漁村センターでは20名  
とそれぞれ1日平均多くの方に利  
用して頂いている。

# 融雪は 河川水の利用を!!

福沢方次議員(社会)

町長の考えは、  
60年度財政見通しの歳入では町  
税あるいは地方交付税等大幅な増  
額は期待できない。歳出面では人  
件費、公債費、扶助費など義務的  
経費の増が見込まれ厳しい運営が  
予想される。特に補助金の1割カ  
ットについて大蔵省の考え方に困  
惑しておりあらゆる機会に国に対  
し再考を促している。こうした中  
で国県補助金の獲得について精力  
的に努めているところだが主な事  
業については明るい見通しがつい  
てきた。今年度は国県補助金につ  
いて減額したものもあるが来年度  
はそのようなことのないよう努力  
したい。厳しい中ではあるが創意

問  
来年度の子算は飯野小学校、町  
民会館、産業展示館、働く婦人の  
家等の建設事業費だけで21億6千  
万円余が計画され近年にない大型  
になる。このため町民から要望が  
最も多い改良舗装事業や用排水整  
備事業の削減を懸念していたが、  
計画では無雪害街づくり事業を除  
いて殆んど今年度を上回っている  
ことは評価する。しかし財調の取  
りくずしや地方債はぎりぎりに近  
い枠に来ており予定している国県  
支出金11億8千万円弱が獲得でき  
るかが問題だ。年度中途で大きな  
減額補正が出ないよう願いたい。  
また高率補助金一律1割カットの  
問題もあり、予算編成に取り組み

問  
60年度財政見通しの歳入では町  
税あるいは地方交付税等大幅な増  
額は期待できない。歳出面では人  
件費、公債費、扶助費など義務的  
経費の増が見込まれ厳しい運営が  
予想される。特に補助金の1割カ  
ットについて大蔵省の考え方に困  
惑しておりあらゆる機会に国に対  
し再考を促している。こうした中  
で国県補助金の獲得について精力  
的に努めているところだが主な事  
業については明るい見通しがつい  
てきた。今年度は国県補助金につ  
いて減額したものもあるが来年度  
はそのようなことのないよう努力  
したい。厳しい中ではあるが創意



上青小学校通学路融雪装置

と工夫をもって総合計画の実現に  
努力したい。

問  
12月になると積雪に対しての対  
応が十分出来ているかと気になる。  
町でも住民の要望に応え市街地や  
住宅密集地を中心にここ2、3年  
急速に消雪道路は(延長1万600m)  
整備されたがまだまだ陳情など多  
い。要望に応えるのが当然だが心  
配されるのが地下水である。今年  
掘られた消雪用の井戸の試運転で  
附近の井戸が枯れたと聞く。地下  
水に依存している町として、年々  
井戸の増設を行うと簡易水道に影  
響が出るのではないか。最近消雪  
用地下水が色々論議されている中  
で、新潟県十日町市をはじめ各地  
で井戸を掘らないと聞いている。  
十分な調査も必要と思うが農業用

問  
12月になると積雪に対しての対  
応が十分出来ているかと気になる。  
町でも住民の要望に応え市街地や  
住宅密集地を中心にここ2、3年  
急速に消雪道路は(延長1万600m)  
整備されたがまだまだ陳情など多  
い。要望に応えるのが当然だが心  
配されるのが地下水である。今年  
掘られた消雪用の井戸の試運転で  
附近の井戸が枯れたと聞く。地下  
水に依存している町として、年々  
井戸の増設を行うと簡易水道に影  
響が出るのではないか。最近消雪  
用地下水が色々論議されている中  
で、新潟県十日町市をはじめ各地  
で井戸を掘らないと聞いている。  
十分な調査も必要と思うが農業用

水の利用も考えるべきでないか。  
各土地改良区における用排水の改  
修事業も合わせ、この機会に流雪  
溝などに取り組みむべきと思う。

町長  
今年度末に委託してある地下水  
調査の結果が出てくるのを見て飲  
料水や消雪に対する総合対策を立  
てたい。新潟県長岡市は消雪道路  
について全国一の総延長路線を持  
っているが現在地盤沈下のため困  
っている。無雪対策としてロード  
ヒーティング法、温泉源による消  
雪法、農業用水を利用する方法な  
ど種々あるが、いずれも地下水利  
用には及ばない。上青小学校横の  
道路で農業用水を利用し試験を行  
っているがこの方法は地形などい  
くつかの条件整備が必要である。  
いずれにしても新しい技術の導入

問  
今年度末に委託してある地下水  
調査の結果が出てくるのを見て飲  
料水や消雪に対する総合対策を立  
てたい。新潟県長岡市は消雪道路  
について全国一の総延長路線を持  
っているが現在地盤沈下のため困  
っている。無雪対策としてロード  
ヒーティング法、温泉源による消  
雪法、農業用水を利用する方法な  
ど種々あるが、いずれも地下水利  
用には及ばない。上青小学校横の  
道路で農業用水を利用し試験を行  
っているがこの方法は地形などい  
くつかの条件整備が必要である。  
いずれにしても新しい技術の導入

問  
近年核家族化や親子の断絶等で  
家庭内のトラブルや少年非行問題  
等新聞種になっている。これは家  
庭内の会話や一家団らんが欠如が  
その要因の一つと言われている。  
しかし日曜日に多くの行事が組ま  
れ家族団らんを望めない現状だ。  
県では41年に毎月第3の日曜日を  
家庭の日として県民運動が展開さ  
れて来たが、今では殆んど忘れ去  
られようとしている。町の59年度  
の1月から12月までの第3日曜日  
の中で、町の関係の行事のないの  
は2回だけである。大沢野町の公  
営施設では、第3日曜日に行事は  
行なわれないと聞か、行政自ら  
音頭をとって取り組まねば徹底し  
ないと思う。それには公的行事の  
自粛や各団体に協力要請出来な  
いか。

町長  
家庭の日は県で41年に制定され  
たが忘れ去られ実行されていない。  
ご指摘の通り青少年非行防止のた  
めにも家族団らんの日としての家  
庭の日を有効活用するよう町とし  
ては関係諸団体に協力を要請、町  
民に対しても広報等を通じピーア  
ールして行きたい。

谷川教育委員長  
56年3月に家庭の日入善町民会  
議が主体となり、家庭の日の推進





**問**  
他用途米の問題、食糧備蓄の問題など農業を取りまく環境は大変きびしいものがある。高度経済成長時の農業は選択的拡大をとえながら高収益を追求し、その躍動

# 自立出来る 農業行政を!!

白又正司議員(自民)

をきめ強力に推進しようというところでコンセンサスが得られていたが、今はもう忘れ去られている。当時は、  
一、なごやかな家庭  
一、たのしい家庭  
一、力を出し合う家庭

は企業性や経営体を意識する上で好機な時期でもあった。しかし今の状況はどうかであるが、経営感覚をと覚えていても当時の状況を再現しうる条件は今のところ何一つ見い出せない。何故かということかつての個人個別経営の着目よりも集団化あるいは共同体活動の育成補助に重点をおいた農政になっている。当町においても中核農家の育成ということで標札を配布されてきたが、その後どう地域農業の発展に生かされてきたか疑問視する。いわゆる自立経営者育成のかけ声だけは良かったが、現今これが経営自立になっていない。これを改めたい。今後の農業の発展策、その対応を図るべきと思うが、農地を買い求め生産基盤の拡大を図ろうとしても公共用地や企業等の土地取得で地価の上昇、肥料、農薬等アップによる生産コストの上昇、更に、農地の遊休化をもたらすような転作など色々問

を柱に毎月目標も決められていた。現今の青少年の非行を見ると家庭にも問題がある。学校と家庭との連携を中心にこの家庭の日の充実を図りながら、地域ぐるみで子供を守って行く体制をとりたいたい。

**問**  
自治体の汚職は上は長から下は係に至るまで発生している。最近では和歌山県下津町で出納室長が公印を不正使用し2年間27億円余の汚職事件が発覚している。当町において職員に平素からどのよう

# 汚職防止対策の 充実を図れ!!

板川清治議員(自民)

借りできる受委託制度もあるが、

か。

入善町農業の実態については農家全体の中に示める専業農家は3%前後となっている。また農家収入に占める農業所得割合は専業農家を除いて20%位である。このような状況の中で農業施策に手をこまねているのではなく、農地の流動化を図り中核農家の育成に努力をしているが、現実には土地に対する愛着心などもあり思うよう

農協では農業機械銀行を作ること

問題がある。なおまた他用途米の栽培にしろもいろいろな作付体系、収益性の問題もある。農民はこれらに対する情報収集そして研究を一番待ち望んでいる。町行政で十分取り組まれること願う。

思うように実績が上がらなく苦慮しており行政の限界も感じている。農家所得の向上には技術的な問題も大事であるが複合的な農業経営も大切と考えている。先般農村婦人大学を開設したがこのような講座開設は今後も積極的に進めて行くことや化学肥料ばかりでなく酪農家との種わらの交換事業あるいは荒又に作られた堆肥舎の利用拡大のための増設など、そしてこれらに対する町の資金援助をしての土づくり対策も必要と考えている。また機械倒れしないよう協業化、協同化する方向づけを行きたい。

事件は現金扱い部門や契約、査定検査、許認可の権限を持っている部署に多い。町長はこれらにたずさわっている職員をどのように対処しているのか。  
監査委員に尋ねるが汚職防止の観点からどこにポイントを置いて監査されているか。また改善すべ

き点はどこにあるか。さらに適正な行政がなされているか点検する手続き方法の確立のために汚職警報図をとる人もいる。当局も監査委員と協力して作成する考えはないか。

**町長**  
職員は全体の奉仕者としての信用失墜行為の禁止等厳しく義務が課せられている。憲法や法律などの規律事項を踏まえ機会あることに綱紀の肅正を求めている。具体的には公務員としてのモラルの高揚など研修を通じても行っている。今後さらに管理監督に努めていきたい。ご指摘のようなポストについては3年ぐらいで変わることによって後のポストの人がチェックするようなことも方法とを考えている。汚職警報図という耳なれない言葉だが、一つのメニューだと理





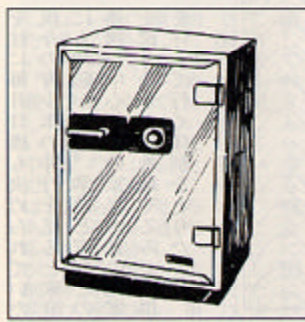
解し手立てにして行きたい。  
奥田監査委員

どこに監査ポイントをおいているかであるが、定期監査では主な収入・支出を拾い上げ事務事業が効果的かつ経済的・合理的に運営されているか主眼としている。疑問点があった時は担当課を呼び説明を聞き行政監査の領域でないかと思われるとこまで侵入している。出納検査では現金の保管状況を帳簿の残高と預金残高が符合しているか、帳簿外の現金や物品がないかなど支出票等一枚一枚チェックしている。これら毎月一回定期的に行っておりそのほか決算審査もしている。現時点では会計事務は適正である。チェックのことに付いてだが職員に対し疑惑があると思われたとき卒直に町長に連言され万全の対策を講じて行くべきである。

問 国の行革は末端自治体に対し、しわ寄せが厳しくなると予想される。そこで各自治体も経費や人員の削減といった思い切った自主改革をする段階にきている。しかし行革とは逆行している面もある。それは58年の行財政審議会の提言にもあるが、武村福祉会館などの公共施設に対する一般財源の持ち出しは前年比5%以上削減の提言だが、その努力が見られず職員OBから課長代理に切り替えている。また職員の適正配置や定数の削減を提言されているが、若い人でないと余り出来ない部署に年配の方の配

置とか、5人の職員採用など実行に移されている。町長の小さな経費で最大の効果とは裏腹な行為が目につく。60年度からの具体的取り組みをどうするのか。  
町長

行財政審議会は3次に亘って提言を頂いたが一応2年間の任期が満了した。一定期間をおいてまた必要だというようなことになれば議会の議決を得て組織したい。補助金の廃止は13件224万円、補助金の削減等10件37万円を実行したが議会にも理解して頂かねば廃止や削減は難しい。事務合理化を図るためOA機器など導入し人件費の削減を考えていることや事業の採択についてはスクラップアンドビルドの原則に立ち取り組みたい。しかし行革は住民に不当な負担をかけないように留意しなければならぬ。武村福祉会館はその性格上独立採算性は困難だが、会館運営審議会の意見も聞き運営に当たっている。今年より教育委員会へ所管替えしたので管理運営体制が整った時点で弾力的な人事配置をしたい。



# 健全な 財政計画を!!

岩場 俊議員(民社)

問 国の2兆8千億という歳入不足は地方行革という名のもとに補助金の一律1割削減を中心として地方に負担を押しつけている。これは地方自治体がいくら声を大にしても削減が行われることは必至であり、予算編成に当たってこれを可が負担することになるだろうと推定する。さて58年度の決算から見ると2億円の基金繰入(積立金)を行っても約1億2千万円の赤字となった。また経常収支比率も73%、公債費も債務負担行為を含めて14%と健全に推移することが出来た。この原因は町税の1億5千万円の増収と地方交付税の1億5千万円の増収と地方交付税の1億5千万円がその大きな要因である。過去町税は平均10%程の増に推移しているが59年度において町税の収入をいくら見込んでいるのか。また今年度の財調基金への繰入れをどの程度考えさらに予算の執行は100%できるのか。58年度決算の意見書によれば一般財源に占める公債費割合が14%に増高していることを心配し、この数値を適正に保持するよう申している。このことは14%に極めて近い数値を適正なる%として想定されているのであって無限のものではない。来年度以降

の総合計画実施計画によれば59年度の15%、60年度17%、61年度19%、62年度19%と増高の一途をたどる。町長は財政計画と決算意見の整合性をどのように考えておられるのか。昨日の答弁では20%が歯止めとも言っておられるが、次に財政構造の弾力性をみる上で最も重要な指標として経常収支比率がいわれている。当町は58年度で73%であるが一般的には町村にあっては70%、都市にあっては75%以下が適切とされ町村では75%、都市にあっては80%を超える場合その財政構造に弾力性を失い行政水準の低下につながるというわれている。私の試算では59年度で75%迄に60年、62年は80%前後となる。その上この3ヶ年の財政計画の投資的経費の中に債務負担行為が算入されているものとすれば、60年度には90%を超えることになり健全どころか不健全極まりない計画となる。町長はどのように考えているのか。

町長 来年度予算においてカットが予想されるのは児童保護措置費などで250万円位と申している。しかし保育料の算定についてはこれから煮詰めて行きたい。59年度決算の



増収額見込みは町税で約6千万円、地方交付税で約700万円、この外不透明だが特別交付税と合わせ約1億円は見れると思っている。その外自動車税等の交付金で2千万円、財調運用収入で8千万円やその他経費削減等によって3億円の増収を見込み今年度に1億5千万円以上の積立てを目標に行きたい。なお予算の執行率は57年度で96%、58年度は97%であったので59年度も現時点では97%、98%台と考えている。意見書(監査委員の意見)との整合性については、これは議会の意見として町民の声を受け止めている。しかし住民の要望が強い場合は公債比率が若干あがっても事業は進めなければならぬ時もあり、その場合には長期的な展望あるいは借金の返済の見通しな





逐次改築が望まれる保育所

十分たて対処するならば意見書の考え方に反しないと考えている。事業の必要度、緊急度など総合的に判断し事業の採択をしたいので議会のご理解も賜りたい。

**企画財政課長**

経常収支比率はご指摘のとおり財政の弾力性を見る上に最大の指標であるので、今後は公債比率とあわせてチェックしながら積極的健全財政を堅持して行く考えである。

のは市町村となると思う。県の予定している雪対策条例とはどんな内容なのか。また町は県に対して要望なり注文をつけているのか。

**町長**

県の雪条例は、若干県が市町村との話し合いを十分に行わないで先走りした感もある。先に町村長の総会において県より説明はあったが町村から出された意見は、この条例によって財政的な負担は困るといのが一致した意見であったが県ではそのようなことは考えていない。むしろ県民全体の精神的な条例、雪国に生まれた県民としてのあるべき姿を強調しているので理解して欲しいとのことであった。県条例が出来れば議会の皆さんと相談の上具体的にどうするか決めて行きたい。

### 町政懇談会の要望を どのように取り上げるのか

佐藤 学 英議員(自民)

**問**

町民参加の町政、町民主体の町政の一端として毎年定例的な行事とはいえ本年も10月29日から町政懇談会を開催され対話の中から数々の教訓を得られたものと思う。そしてその懇談会の要望が大変多く出された中で道路の舗装または拡張改良、用排水路の改修、消雪装置、降雪期の対応など生活環境の改善の音がこれまで大半であった。しかし60年度の総合計画の口ーリングが12月4日我々に提示されているが懇談会は12月15日に終わっている。このような開催時期で真に町政に反映出来るのか。またこれら町民ニーズに対し60年予算編成にどのような考えで臨むのか。また横山地区やほかからも出されたやに聞くが町の防犯灯は30灯に規制されているが拡大の要望に添えていかれるのか。

**町長**

各課の予算要求は12月24日であり町長査定は1月末前後と考えるので町政懇談会要望の予算反映は問題はない。しかし単年度で出来ること、四、五の補助を持つて長期的に行うなど問題もあることを理解願いたい。防犯灯については財政事情など勘案の上、年間新設枠

**問**

議者と当局のコンセンサスのないまま12月議会に町民会館建設費5億7千万円の補正予算を提出しようとして、これを見送られたが、今後どのように対処されるのか。また町民文化会館という名称も仄聞したが、文化の2字がつけ加えられた理由は何か。

**町長**

議会と円満なる意思の疎通が欠けていた点が多くあったことは深く反省している。議長や特別委員会とも相談の上今後の日程を決めて行きたい。名称については文化庁の要請により「文化」を挿入して欲しいという要請もあり考えたこともあったが、現在文化庁もさしてこだわっていないし町民が気軽に呼んでもらえるような名称が望ましいと考えているので議会、委員会とも相談の上決定したい。

町政懇談会



している。本年7月から9月までの夏季のゴミ量増大及び生ゴミの不快防止を図るということで市街化地域を対象に特別収集したことは評価出来るが、その結果量的にどれだけあり、経費は幾ら位か。さらに来年度は夏季に限定せず公平の原則からして年間週3回収集に踏み切る考えはないか。最後に田中の埋立地は60年度で満杯と聞いていたことや新川広域圏での埋立地の対応など、どのような方向で進んでいるのか。

**町長**

生ゴミなど燃焼物を通年全町に行うことになると年間1千万円以上の予算が必要になるので、今しばらく現行で考えている。広域圏としての埋立地について黒部市



内ということで基本的に一致しているが細部について合意に達していない。当町としては距離の問題、冬期間や道路改修の費用等考えれば積極的に考えていない。

環境保健課長

特別収集については経費は94万円のプラスに、量として68トンと

## 保育料の父母負担は増額すべきでない

九里郁子議員(共産)

政府各省の概算要求の内容は社会保険、文教など国民生活関連予算が厳しく抑えられる一方軍事費は2千55億円で7%増、政府開発援助は600億円で11%増となっている。軍事費を削減すれば保育所措置費よりは削らなくとも済む。さて補助カットの影響は現段階で保育所措置費で250万円の減額だけのことであるが、今でさえ低い国の負担が減額になれば保育水準の低下や父母負担の増加につながることを心配する。来年度の保育所の負担割合を59年度の50%並に堅持し父母負担を増加すべきでないと思うが、また教材費について国が負担をやめると言われているが町への影響はどれだけか。国に対しこれら見直しをやめるよう要求すべきと思うが。

町長  
保護者負担の割合は(1)2、(2)3

推計している。田中の埋立地は大部分窮屈になって来ている。また隣接して田を2枚購入しているが、地元との意見調整に時間を要している。地元では埋立し防潮林を作りたいという要望もあり、農政課を中心に地元と話し合いの最中である。

年50%前後でありそれを一つの目安にしたいが、保育料は階層ごとに平年度並の引き上げは必要でないか。また教材費においては影響はない。

問

来年度は3年に1回の固定資産の評価替の年であり、固定資産税や国民健康保険税の増額が予想されることなど町民に与える影響は大きい。町民の生活を守るため国に次の点を働きかけて頂きたい。

- (一) 来年の評価替えを中止すること。
  - (二) 年金生活者や障害者などへの救済措置を図ること。
  - (三) 地代、家賃の便乗値上げの防止措置をとること。
  - (四) 路線化方式の見直しと評価の適正化、各種の特例措置の廃止縮小、大企業優遇の是正。
- さらに町独自として年金生活者・障害者なども減免の範囲に入れ

るべきであり、そのための相談窓口の設置など出来ないか。

次に真の行革とは無駄をなくし国民本位の行政を進めることであることは町も同じである。600万円の町長交際費、総務食糧費だけでも120万円、これら見直すことこそ町民が求める行政改革でないか。

町長

入善町だけが評価を中止することは出来ない。国に対しては機会を見て意見を申し上げて行きたい。減免については生活保護を受けている人や災害など特定の条件を備えていれば対象となるが法律に抵触しないか検討はしてみる。税の相談は常時役場で行っている外、毎月10日税相談日として中央公民館で行っているが、広報などでピーアールしたい。交際費は町長というよりも町長賞や賞品代、機関接待、賛助金、香典、見舞費など入善町交際費的なものだ。

問

国営黒部沿岸農業水利事業は入善町農業の基礎をなす農業用水に係る重要な問題である。今回改修が予定される黒東合口水路から農業用水路への取入口を現在より大きくしておくべきでないか。併わせて合口水路の断面も広く、浅くすれば冷害対策上好ましいと思うが、つぎに最大取水量の問題だが57年に知事と土改連で従来の80トン(30トンで契約されたが、60年に水の需要計画、状況など調査し再度協議することになっている。その後、どのように対応し今後の

対策はどうなっているのか。

町長  
水量については町は直接的所管でないが、黒部川沿岸土地改良区の皆さんと一緒に陳情に行ったこともある。今後も運動して行きたい。なお取水口の断面は広くした方が良くと思うので関係者と意見交換する必要がある。

問

減反の大幅な緩和によって米需給の逼迫が起きないようにすると共に、不作の時でも食用、加工用とも十分需要がまかなえるゆとりある需給計画を確立することや、農民に低米価を押しつける他用途利用米制度を廃止することを町長は率先して取り組むべきである。他用途米については今年も町において飯米農家が購入して消化するなど、混乱と矛盾を引きおこした。国に対しこの制度の廃止を要求す



る必要もあるが、当面どのように対処するのか。

町長  
他用途米については基本的に反対の立場で進まねばならないが、返上また作付を拒否することは全体の流れ、食糧会計を守ることからすれば農民の皆さんに不満もあらうかと思うが協力をお願いしたい。

農政課長

他用途米の配分は現段階では県より指示がないが、昨年のように水稲の作付けしない飯米農家にまで負担させるのではなしに、集落別に向けての実施計画というものも要素に考えたい。

問

町民会館建設について色々論議されているが、私は従来から福祉会館のあり方等含め再検討を求めてきた。先般開かれた入善町青年議会を傍聴して感じるのだが、文化ホールや中央公民館など擁した町民会館を最も身近に感ずるであろう青年が、建設に至る経過や建設後の利用などに疑問をもっている。また商店街の方では武村福祉会館の駐車場を確保し有効活用を図るべきとの意見もあり、建設に賛成という人はいなかったが町長それでも建設されるのか。

町長

町民会館は必要であり理解願いたい。武村福祉会館は教育センターを入れ利用の拡大をして行きたい。総合会館内(旧警察署)の連合青年団の行き場所を考えてから駐車場に取りかかりたい。





**問**  
 私達の健康はみんなの願いであり幸せの根源でもある。さて国民健康保険は他の保険に加入していない人は必ず加入しなければならず国保税も納めなければならぬことは当然である。しかし58年度決算ではこの課税額は県内で小矢部市について2番目である。それが原因かどうかわからないが滞納は55年33万円、56年173万円、57年度から急上昇して537万円、58年に至っては736万円となっている。それとは逆に国保会計は57年度に1億円、58年度も1億円と合計2億円を積立てるに至っている。また一般会計からの支援は56年まで2千500万円、58年1千500万円、59年に

**企業は  
地元優先雇用を!!**

広瀬義孝議員(自民)

は500万円と減少している。国保は58年2月に老人保健制度という大改革や給付が落ちついた現在割り切れないものもある。課税に問題があったのではないか。さらに59年度は一般会計からの繰り入れ金は500万円だが4千万円も要する人件費は国庫補助金を引いても加入者で2千万円以上の事務費を負担している。特別会計という町でこのようにしているものなら町行政その事業ごとに人件費を計算して進めねばならない。予算編成に当って如何に考えるのか。そして年々税が上がる一方52年以來据え置きになっている葬祭費、育児手当の考えもあれば伺いたい。

**町長**  
 国保は他の保険から較べ財政基盤が弱い。従って負担能力の対応などで大変な運営になると思っている。昨年末で2億円の積立金を持つておりそういう実態からして一般会計から500万円にしたが、長期的展望から考えるなら国の補助率が大幅に削減が予想され国保会計に大きな影響があると考えるので、来年当りからは増額を固らねば収支バランスを保てないと考えている。

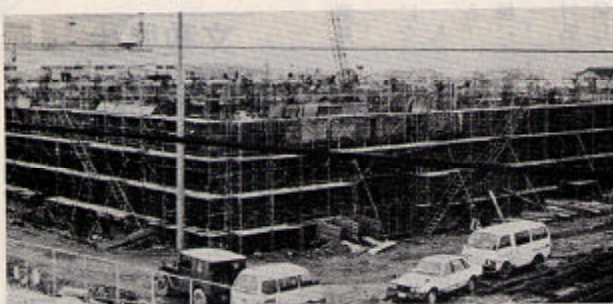
**環境保健課長**

56年に税を26%アップしたことや指摘のとおり58年2月に老人保健医療制度が出来国保がそれだけ総体的に安定してきたことが積立出来た一つの要素でもある。しかし結果的には税を先取りしたことにもなる。また今後の見通しだがこの度退職者医療制度が出来たが、国が補助率を下げたことにより大きな影響が出てくるものと思定しており、また診療報酬も上がることには間違いのないため大変きびしい運営になる。近隣市町はすでに増税はやむを得ない状態になっているが我が町は2億円の積立もあり増税は先送りに努力して行きたい。

**問**

町政を取りまく内外のきびしい状況の中で今、富山日本電気㈱が植音高く工場の増設中であることは大変喜ばしいことだ。用地提供者や仲介の労をとった職員に感謝する。さて建設されていることは解るが果してどのようになるのか我々に聞かされていない。工期や操業はいつであって従業員がどれ位になるのか解る範囲で説明願いたい。このように拡張されることは大変良いことだが地元入善町町民の優先雇用を企業はどのように考え町の考えを申し入れているのか。さらに以前の話だが入善高校の農業科に求人申し込みがなかったとも聞く。また年令は25才とか制限されているようだがせめて入善町の人は30才位までにしよう。企業に申し入れ出来ないか何う。

増築中の富山日本電気



**町長**  
 日本電気はこれで4回目の増築である。現在駅の北側に鉄筋コンクリート造り3階建てを建設しているが60年に一部稼働し61年からフル操業になり投資総額は100億円と聞く。また現在の従業員は男547名、女360名合計907名であるが、60年4月採用予定100名、61年も大体100名とも聞く。さらに次期拡張計画は不透明だが近い将来増設しこれら完成した場合1500名位の工場になるようだ。町内の方の優先雇用は機会あるごとに申し入れているが農業科あるいは年令の問題については会社の方針もあると思うが十分希望として申し上げたい。

**参考  
まで  
に**

**経常収支比率**

地方公共団体(都道府県及び市町村)が毎年度継続して経常的(一定して変らないこと)に支出される人件費、物件費(旅費、交際費、食糧費、燃料費、電灯料、郵便料など)、維持補修費、扶助費(生活困難な方、身体障害の方)に対しその生活を維持するため支出する(補助費、公債費(借金の元利償還額))これら行政運営上欠かせない経費が経常一般財源に占める比率をいう。

経常一般財源とは市町村税、地方譲与税、地方交付税、使用料、手数料というものであるが、この比率が標準的団体では75%前後となっている。比率が高い団体は財政が悪化し硬化化しているので健全化に努めなければならない。これは残り25%をもって町単事業や国庫補助金が伴う事業に町がつぎ足し財源とするものであり、経常収支比率が高い程建設財源に振り向ける財源が少ないことを意味している。ありうることではないと思うが、最悪の場合国の補助金がついてもつき足し財源がないため受け入れられないことも生ずるため、この比率は公債比率と併せ最も注意すべき数値と言える。



# 常任委員会審査報告

## 総務



委員長 佐藤 学 英

**意見**

一、今回の補正予算は入善漁港施設災害復旧費5千300万円が計上されなければ減額予算であった。じょうべのま遺跡保存整備事業費で国県補助金1千800万円余、農免農道整備事業費、国県補助金で1千400万円弱の減額が大きい。国家財政のきびしさは理解するが安易な予算化は慎むべきであり住民の期待を裏切るものである。

一、庁舎修繕費は当初1億円を要すると説明し予算化していたが、9月議会で3千万円、今定例会で1千100万円を減額するに至った。最少の経費で効果をあげんとすることは理解出来るが方針や工事費積算のあり方に疑念を抱かざるを得ない。今後このようなことのないよう報告や説明は十分されたい。高、町は60年度予算編成に向けて大変多忙とは思いますが国の動向は十分見極め対応されんこと申し添える。

## 文教厚生



委員長 広瀬 義 孝

**意見**

一、アメリカカへ海外研修することになった泊高校就学者7名に対し一人2万円助成することに賛意する。広く海外を見聞し将来町の発展に寄与されんこと期待する。

一、西中の生徒増やクラブ活動に対処するため、スクールバスを増発し、これを地鉄に運行委託することは、要望に応えた措置として

評価する。なお、あつてはならぬことであるが、万一の事故に備えて契約には十分配慮することが必要だ。

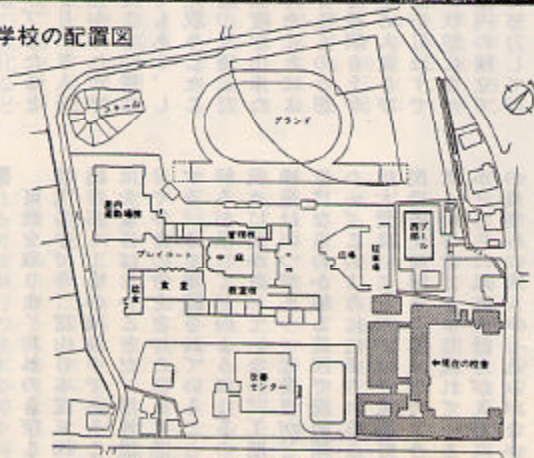
一、じょうべのま遺跡保存整備事業の国県補助金が大幅に減額になったことは遺憾とする。また将来これが完成後については維持管理費は必要最少限に止めるよう今の内から検討する必要がある。

一、野中地区西中・中沢簡易水道(118世帯)は枯渇となったが迅速に舟見簡水の協力による仮設工事や水源地探査をすることは、日常生活に影響することであり、当を得ている。なお、現在東京システム開発研究所に地下水調査を委託していることだが、結果が出た次第将来展望に立って簡水計画をする必要がある。

●飯野小学校完成予想図



●学校の配置図



飯野小学校完成予想図・学校の配置図

## 産業建設



委員長 白又 正 司

**意見**

一、農免農道整備事業の国県補助金が減額となったことは残念である。住民の要望に応え実行に移すことが第一でありその運動が大切である。

一、都市計画中町線の早期完工について更に努力する必要がある。

一、他用途米の対応について農家の方に不満もあると思うが、今回県費補助金に乗せして他用途米集落活動推進費として支出することに評価する。

一、古黒部地区に除雪車を配置することは当をえているが、事故がないよう指導されたい。

一、青木から下野間農道整備事業及び上原地区の農村基盤総合整備事業について町が行う土地改良事業として国の事業認可を受けることになったが、国の財政状態からして計画期間どりの完成は無理と思うが、補助金の獲得に向けて努力して欲しい。

一、野中土地改良区及び木根・芦崎地区から提出されているそれぞれの請願・陳情は道路整備など生活環境にかかわるものであり要望に応じて行く必要がある。



### 町民会館の概要

町民会館は、中央公民館・図書館・文化ホールの3つの複合施設で、生涯教育や社会教育、各種の芸術文化活動の拠点となるものです。

役場庁舎裏の北側・11,160平方メートルの敷地内に、鉄筋コンクリート造地下1階一部地上3階建て、延面積約5,970平方メートルの建物を建設。事業費は59年・60年度の継続で総額21億5,500万円。

#### ◎施設内容

- 中央公民館 研修集会室(洋)4室  
和室3室  
視聴覚室1、美術工作室1  
展示室、郷土資料室1 ラウンジ
- 町立図書館 一般閲覧室、児童図書室  
書庫、学習室、車庫
- 文化ホール 舞台(間口14m×7.8m奥行14m)  
音響反射板、映写設備等  
客席、固定席560席、楽屋2室  
リハーサル室3室
- 駐車場 会館用駐車場約200台  
役場駐車場約200台

#### ◎財政計画

国庫補助	2億 400万円
県費補助	4,800万円
町 債	8億4,000万円
一般財源	10億6,300万円(積立金)
計	21億5,500万円

町民会館建設については58年6月に議会の意見を統一して当局に具申するため設置されたが、当局より提起された庁舎北側の3つの複合施設ではなく経費や敷地が狭すぎる等の問題もあり図書館を分離し中央公民館、文化ホール部分は生涯学習教育の館、あるいは都市開発計画など将来展望に立って運動公園に隣接して建設することが望ましいと58年12月に意見を出していた。しかし庁舎北側で建設したいとする当局の要請を受け、駐車場の確保のため家屋移転すること、交通確保を図ること、大幅に増える建設費で今後の財政運用に影響させないことなどを条件に59年4月に庁舎北側で了承することになった。しかし59年9月にお

いて町長より中央公民館用地の一部を町民会館に係る土地所有者の代替地として旨発表された。町長自ら公式の席上、中央通り線の物件移転代替地や商店の活性化に利用すると言明されていた土地の筈であった。当然、商工会でも反対されたこともあったが、議会でもこれに対し白紙撤回を申し入れた。このように町づくりの将来ビジョンがないことや会館建設地は駐車場や植樹場所が狭すぎる。メイン通りとの整合性や財政上影響が大きすぎるの問題など再検討すべきでないか。新天地を求めるときでないか議論が続出し当局へ訓言していた。しかし何等状況報告のないまま12月7日、当局から12月補正で5億7千万円を補正し

### 第21回

## 臨時議会

1月29日に臨時会を開催し町民会館建設特別委員会の中間報告

の後、補正予算ほか議案2件を議決した。

### 臨時議会

#### ◎昭和59年度入善町一般会計補正予算(第5号)

・昨年末からの豪雪に対処して除雪対策費に2千440万円を補正し総額7千939万3千円とする。

・町民会館建設事業費として5億7千100万円を追加し59年度事業費は9億7千787万円となった。尚町民会館は59年60年の2ヶ年の継続事業とし総額21億5千500万円とした。

#### ◎入善町営住宅設置条例の一部改正

駅南住宅の設置戸数54戸を12戸加え66戸に改正、2月から入居させることにした。

#### ◎固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

尾木 威氏の辞職に伴い、その後任に宮本昌之氏が選任された。

### 町民会館建設特別委員会中間報告

委員長 上野 幸一



たいと聞き及んだところである。6月から9月、9月から12月にかけて何等議会側へ状況報告しない町長の姿勢が疑問視され9月・12月両定例議会や委員会において、建設そのものについてまでこれを否定する空気が大きく出るようになった。しかしこの問題は国や県とも関係することであり早急に解決しなければならぬため、年末から1月中旬にかけて原点到り当局と話し合いを行った。その主なものとしてまず町将来構想における町民会館の位置づけ、その目的、施設管理方針、周辺の開発計画さらには武村福祉社会館の今後の利用の考え方、今後の財政計画など資料の提出を願い審査し、修正すべきところは修正を求めある程度の合意点に達した。また3月、6月議会で用地買収費など予算議決していることや、補助金の内々示、今年の1月23日物件移転に同意がとれたこと、さらには町の上局に対する信用などを考え建設に着手すべきものとの結論になった。なお当局には議会と両輪になつていない行政の取り組み姿勢について、厳重に注意するとともに町民会館と相関関係にある中央通り線の早期開発・商業面においてはコミュニティマーケットなどの構想や武村福祉社会館の有効適切な利用活用なり、また住民ニーズの最も多い道路、水路、消雪など生活環境整備事業などは後退することのないよう更にその実現に向けて努力するよう意見を加えた。



町民会館完成予想図

### シートベルトの着用推進に関する決議

国民皆免許時代を迎えた今日、悲惨な交通事故を防止し、安全で住みよい町をつくることは、3万町民の強い願いである。

しかしながら、当町における交通事故は、事故防止のための諸施策や町民の活発な安全運動が展開されているにもかかわらず、依然として多発の傾向にあり、町民の尊い生命が奪われ傷つけられている現状は憂慮にたえないところである。

このような交通事故から尊い人命の損傷を防止し、かつ安全運転意識の高揚を図るためには、シートベルトの着用は極めて有効な方策と考える。

よって本町議会は、全町民とともに、シートベルトの着用推進と、その定着化を強力に推進するものである。

昭和59年12月22日

富山県入善町議会

### 編集後記

56豪雪に劣らぬほどの積雪に見舞われた今冬も2月4日の立春をすきてから漸く一段落してきました。つつしんでお見舞い申し上げます。

さて60年度政府予算案が年末に発表されましたが、ついに社会保障などの高率補助金が一律10パーセント削減するなど地方への影響が出てきました。我が町へは現在のところ保育所措置費で若干該当するようです。一方、地方交付税や地方税は一割程度増が見込まれると思うが、予算編成中であるのでその成り行きに注目しております。しかし60年度は今年に引き続き町民会館や産業展示館、働く婦人の家、飯野小学校など箱物が中心となるので町史はじまって以来の70億を越す大型予算となります。その財源に起債いゆる借金10億円程充当しなければならぬが、長期展望に立った財政運用さらには行政経費の見直しなど、限られた財源で効率的な財政運営するよう更に具申し、活力と希望が損なうことのない町づくりのため全力を尽して行きたいと考えています。

3月議会が間もなく始まろうとしています。議場への傍聴をお待ちしています。

議会だより編集委員

- 岡島松次郎 白又 正司
- 大林 政雄 岩場 俊
- 佐藤 学英 西尾 三郎
- 広瀬 義孝 石川 昭男